

■ おとなの学校 ～ 毎週水曜日開催中(開校中) ～



高齢者の方の新型コロナウイルスワクチン接種が進み、緊急事態宣言は解除になりましたが、まだまだ安心できない状況が続いています。そんな中ではありますが、「おとなの学校」は感染予防対策をしながら元気に開校しています。

おとなの学校の参加対象は滑川町に在住の高齢者になりますが、参加されている皆様は頭の回転が速く、専用テキストだけでは物足りない様子が伺えました。そこで、市販されているクイズの本なども活用しながら楽しく授業を進めています。漢字が得意な方、花などの植物が得意な方、地理が得意な方など博識の方が多く、進行する側が教わるケースも少なくありません。

ある利用者様は、「毎週水曜日を楽しみにしている」「家にいるより楽しい」などとお話してくれます。また、授業が終わった後、玄関のベンチで利用者様同士で楽しくお話をされている姿をよくお見掛けします。コロナ禍で家にいる時間が増え、人とお話することが少なくなると元気が無くなってしまいうケースがよくあると耳にします。感染予防をしっかりと行いながら、「おとなの学校」で是非元気になっていただきたいと思えます。

「おとなの学校とはどんなことをしているのですか?」といったお問い合わせもごさいます。そのような時は、是非一度見学し実際に雰囲気を感じとっていただければと思います。事前に連絡をいただくとスムーズにご案内ができます。お気軽にお問い合わせください。

開催場所：なめがわ地域 福祉支援センター2階 多目的ルーム
開催曜日：毎週水曜日(祝日を除く)
開催時間：午後1時30分～午後3時

教本をもとに脳トレ
で活性化!!

テキスト



授業風景



お問い合わせ先：☎ 0493 (81) 5101
(月曜～金曜 8:30～16:30) 担当：大下、平岡

■ なめ福通信

広報誌ではお伝えする事ができない各事業所の取り組みや、日々の様子を載せています。是非一度下記URLにてご覧ください。

<https://www.kokoro.or.jp/namefuku/>



良く見ると、ミツバチが...



リハビリデイサービス
なめがわの1コマ

編集後記



本来、昨年の2020年に開催予定だった東京オリンピック。延長されるという発表から1年以上経過しても、まだ新型コロナウイルスと人類との戦いは続いています。より多くの方へのワクチン接種が急がれます。接種後も一人ひとりできる感染対策は継続していきましょう。

担当：平岡



なめがわ地域 福祉支援センターHP <https://www.kokoro.or.jp/namefuku/>



なめがわ地域 福祉支援センター



〒355-0811
埼玉県比企郡滑川町大字羽尾 1041-7
TEL0493-81-5101/FAX0493-81-5102



■ 指定居宅介護支援事業所いづみ

～ ご自宅でもより良く暮らすために ～

なめがわ地域 福祉支援センター
センター長
清水 みゆき

今回はご夫婦で要介護状態の方のプランの1例をご紹介します。お二人で自宅での生活を継続するために介護保険や医療保険、町の事業などを利用して生活をされている方の事例です。

お二人は通所系のサービスは好まなかったため、まずは訪問サービスを利用することにしました。介護保険の利用でお二人ともそれぞれがヘルパーさんを利用し、1日3回(朝・昼・夕)に食事の準備や服薬確認、曜日により入浴の見守りやごみの分別等をしてもらっています。1日2～3回 短時間でヘルパーさんを利用するのは『定期巡回・随時対応型訪問介護看護』というサービスです。

体調の心配もあるので医療保険で主治医の指示により毎週2回、看護師が訪問して、血圧や体温計測はもちろん、お腹の調子や不安な状況を伺い体調の悪化を防ぐことができます。体調が安定することで二人一緒なら出掛けたいという気持ちになり、現在、毎週1回は半日型のデイサービスでマシンを使って身体と脳のトレーニングを行っています。ここまでは、当法人で行っている事業の活用です。

さらに、たまには1日型のデイサービスに行き趣味活動や人との交流をしたいという思いがでてきて、月1回ですが利用することになり入浴やレクリエーションを楽しんでいます。一時介護ベッドをレンタルしていたこともありましたが少しずつ筋力が回復し今は利用していません。また介護保険や医療保険以外では、町の介護タクシーやデマンド交通を活用し病院へ受診しています。

介護保険だけでなく医療保険や各市町村のサービスを組み合わせることで自宅での生活が継続できることも多くあります。自分たちだけで考えてもわからないこともあると思います。なめがわ地域 福祉支援センターは介護保険だけでなく福祉の相談を行っていますので気軽に相談ください。

■ 訪問看護ステーション 森林



■ 感染症対策の研修会を行いました

市町村によっては時期も異なりますが、滑川町でもコロナワクチンの接種が始まりました。ワクチン接種を行っても今後も感染対策は継続していく必要があります。訪問看護でも改めて感染対策について今一度しっかりと確認をし、今後も皆様に安心して訪問看護をご利用して頂けるよう事業所で研修を行いました。

講師による感染対策の講習中



いざ実践！



チェック用塗料をつけて手洗いをします。



手洗いをしてもどの位塗料が落ちているかライトで確認中…。



指先や爪の間は汚れが残しやすいです。皆さんもぜひ意識して洗ってみてください。

■ 気温上昇に伴うマスク着用時の熱中症予防も含めて、今年も新生活習慣のポイントを記載しました

【新生活様式 熱中症予防ポイント】

- ・ 感染予防の為にこまめに換気しつつ、エアコン併用で室温を 28℃以下に調整
- ・ 野外で2メートル以上の距離を確保できる時はマスクを外す
- ・ マスクを着用している時は、激しい運動を避け、周囲と距離をとり適宜マスクをはずして休憩をとりましょう
- ・ 高温・多湿でのマスク着用は熱中症のリスクが高い為、十分な水分と休息をとりましょう。
- ・ 日頃の健康管理を行う事で、熱中症・感染予防に有効です。健康チェックをしましょう。

病气や障がいを持った方が住み慣れた地域で、より良く生活していく為に、看護師やリハビリ専門職が皆様のご自宅へ訪問し、療養生活をサポートいたします。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先：☎ 0493 (56) 4876 (月曜～金曜 8:30～16:30) 担当：佐々木

■ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 森林



定期巡回では、定期訪問と随時訪問の2種類があります。定期訪問は、利用者様、ご家族、ケアマネージャーと一緒に時間や支援内容を決め、その時間に定期的に訪問する事を言います。随時訪問は、利用者様やご家族から緊急の連絡があった際に、訪問する事を言います。排泄介助に関しては、トイレに行かれるタイミングを考慮し、利用者様、ご家族、ケアマネージャーと一緒に検討し、定期訪問を決めています。利用頂いている方の中には、朝・昼・夕1日3回訪問しているケースもあります。また、利用者様から緊急連絡に備え、常時電話がつながるような体制を整えています。

1人暮らしをされている利用者様の中には、訪問スタッフと話をすることが「楽しみ」と言われる方がいらっしゃいます。訪問サービスを利用開始された直後は、コミュニケーションを密に図り、利用者様に早く訪問スタッフの顔を覚えていただけるよう努めています。

お問い合わせ先：☎ 0493 (81) 5101 (月曜～金曜 8:30～16:30) 担当：関口



■ 相談支援事業所 なめがわ



相談支援事業所なめがわでは、特定相談、一般相談だけではなく障害児の支援も行っています。しかし、支援の流れがよくわからないとのお問い合わせをいただくことがあります。そこで、障害児支援の流れをご案内させていただきます。

【障害児支援の流れ】

- ① 市町村への申請 (計画作成)
- ② 保護者 (ご家族・ご本人) が相談支援事業所を選び計画作成を依頼
- ③ 相談支援事業所が計画案を作成
- ④ 計画作成の契約
- ⑤ 行政が支給を決定 (受給者証の交付)
- ⑥ サービス担当者会議
- ⑦ 各種サービスの利用開始

以上が簡単な流れとなります。ご不明な点がございましたら遠慮なく下記までご連絡ください。

お問い合わせ先：☎ 0493 (53) 4761 (月曜～金曜 8:30～16:30) 担当：秋谷